

| 科目番号  | 51002  | 分類 |  | 履修者 | 高度実践看護コース | 学年  | 1  |
|---|--|----|--|-----|-----------|-----|--|
| 科目名   | 人体構造機能論<br>(Anatomy and Physiology)  |    |  |     |           |     | 1  |
|   |  |    |  |     |           |     | 配当セクター   |
|   |  |    |  |     |           |     | 通年   |
| 担当教員  | 今井秀樹 他3名   |    |  | 区分  | 必修        | 単位  | 2  |
| 授業の概要および目標  |  |    |  |     |           | 時間数 | 30   |
| 学位授与の方針との関連   |  |    |  |     |           |     |  |
| 【概要】<br>診療看護師（NP）に必要な科学的根拠に基づく医学的な判断と問題解決能力、医療技術の発展に対応できる能力の基礎を身につけるために、周手術期、生命危機期などのクリティカル領域における病態生理、疾病の理解の基盤となる人体の機能や構造に関する基礎的知識を確実なものとする。その上で、クリティカルな状況にある患者の生体侵襲について理解しながら、生命維持に直結する呼吸器系・循環器系・中枢神経系および代謝機能に係わる代表的な疾病の病態生理、臨床症状、診断を行うための医学専門的な思考を統合し特定の行為を行えるための能力を構築する。 |  |    |  |     |           | ○   | 1. 患者・患者家族のニーズに自律的に対応できる実践能力                     |
| 【目標】<br>1. 人体の構造について臨床に即した知識と合わせて理解する。<br>2. 検査画像を読み取る能力を身につける。<br>3. 人体解剖を通して人体の構造を肉眼的に観察する。   |  |    |  |     |           | ○   | 2. 患者の擁護者として活動できる倫理的意思決定能力                       |
|   |  |    |  |     |           | ○   | 3. 看護・看護学の発展・進化に寄与し社会・時代のニーズに対応した創造的な研究・開発能力     |
|   |  |    |  |     |           | ○   | 4. 多職種と連携・協働して行われるチーム医療の中で看護職としてのリーダーシップを発揮できる能力 |
| 授 業 計 画   |  |    |  |     |           |     |  |
| 回   | 内 容  |    |  |     |           |     | 担当教員   |
| 第1回   | I. 臨床解剖学総論   |    |  |     |           |     | 今井<br>他3名  |
| 第2～13回  | II. 臨床解剖学各論<br>1. 人体の構造と機能の理解<br>人体の構造と機能について系統別（下記）に自己学習を行い、発表を通して知識を確実なものとする<br>胸部そのI<br>胸部そのII<br>腹部そのI<br>腹部そのII<br>骨盤そのI<br>骨盤そのII<br>会陰<br>上肢<br>下肢<br>頭頸部<br>背部 |    |  |     |           |     |  |
| 第14・15回   | 2. 解剖見学 後期11月頃   |    |  |     |           |     |  |
| 事前・事後学習   | 毎回の講義の前に下記参考図書該当部分を熟読する。また講義で取り上げた「臨床応用問題」について復習する。<br>単位と時間数に応じた学習時間（学生便覧参照）を参考に組み込むこと。   |    |  |     |           |     |  |
| 評価の方法   | 講義の出席状況、参加状況、プレゼンテーション、筆記試験によって評価する。<br>フィードバックは適宜行う。  |    |  |     |           |     |  |
| 参考図書・資料等  | ◎スネル臨床解剖学第3版 R.S. Snell、山内昭雄訳 メディカルサイエンス・インターナショナル<br>◎は授業の必修図書ですので、購入していただきます。  |    |  |     |           |     |  |
| 備考  | オフィスアワーについては、学生便覧を参照し、教員と日程調整をする。  |    |  |     |           |     |  |